

γ-GT

の検査について



日本臨床検査専門医会
木村 孝穂

表1 γ-GT 高値となる病気

測定値	原因となる病気
軽度上昇	急性および慢性肝炎（A型、B型、C型肝炎ウイルスなどによる）、アルコール性肝障害、脂肪肝、薬物性肝障害
中等度上昇	アルコール性肝障害、肝膿瘍、薬物性肝機能障害、原発性胆汁性肝硬変、胆道閉塞*、肝細胞癌、転移性肝癌
高度上昇	アルコール性肝炎、胆道閉塞*

*胆道閉塞は胆石などの病気だけでなく胆のう癌、膵臓癌などの悪性疾患でも起こります。

●γ-GTってなんですか？

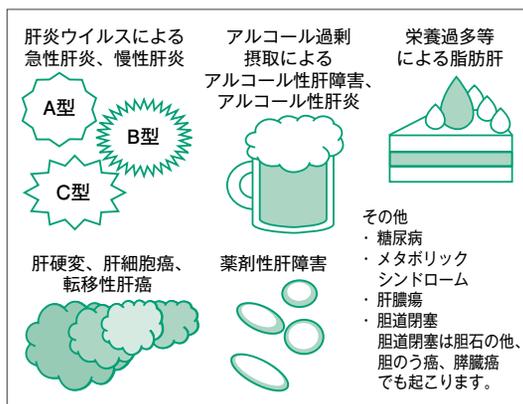
健康診断で血液検査を受けるとよく目にする検査項目γ-GT（γ-GTP）は、ガンマグルタミルトランスペプチダーゼという酵素です。肝臓、腸、腎臓、膵臓にγ分布していますが、異常値（高値）を示す場合は肝臓が障害されていることがほとんどです。AST（GOT）、ALT（GPT）などと3点セットで、肝臓や胆のうの検査として測定しています。

●γ-GTはどんな病気で高値になるのでしょうか？

血糖値やコレステロール高値でがっかりしている人をよく見かけますが、γ-GT高値を気にしている人はあまり見かけません。では、γ-GT高値でも大丈夫なのでしょうか？

表1をご覧ください。ウイルス性肝炎、アルコール過剰摂取、栄養過多、癌など、肝臓や胆のうに関するほとんどの病気で、γ-GT高値となることがわかりになるかと思えます。他の原因としては、薬の内服（てんかんやけいれんを抑える薬、尿酸値を低下させる

γ-GT（γ-GTP）高値となる病気



薬など）、糖尿病や心筋梗塞でもγ-GT高値になることがあります。最近では、メタボリックシンドロームでγ-GT高値となることも増えています。健康診断などでγ-GT高値を指摘される場合、アルコール性肝障害や脂肪肝などの場合が多いですが、癌など命にかかわる病気が隠れている場合もありますので注意が必要です。

●新しい話題

最近、脂肪肝の一部で非アルコール性脂肪肝炎というものが増加しています。これまで脂肪肝は栄養過多が原因のことが多く、注意を要する病気ではないと考えられていました。しかし、アルコール摂取が少なく、特別な肝臓の病気がないにも関わらず脂肪肝になっているものの一部に、肝硬変や肝臓癌になるものがあり、非アルコール性脂肪肝炎（NASH）と言われています。

NASHはメタボリックシンドロームとも関連がある病気です。ダイエットや生活習慣の改善を行っても脂肪肝がよくならない場合は要注意です。

●γ-GT高値を指摘されたらどうしたらよいのでしょうか？

γ-GT高値だけでは自覚症状が乏しく、医療機関で精密検査を受けることにつながらないことが多いようです。残念ながら自覚症状、診察、血液検査だけではγ-GT高値の原因をつきとめることはできません。癌など命にかかわる病気が隠れていることもありますので、γ-GT高値を指摘された場合は、必ず医療機関で腹部超音波検査などの精密検査を受けるようにしてください。